

祝 二十歳

新たに歩みだすオトナへの一歩

1月12日(日)、甲佐町生涯学習センターにて令和7年甲佐町二十歳の成人式が開催されました。

今年の新成人は、平成16年4月2日～平成17年4月1日生まれが対象で、町内の対象者は93人。式典には68人が出席しました。

会場に続々と集まる若者たちは華やかな振袖やスーツに身を包み、お世話になった父兄や恩師、旧友との再会に涙する場面も見られました。

式典では、三輪孝之副町長が「現在甲佐町では、新たな施設や子育て支援の充実を計っています。それでも未来に向けた新しい甲佐町をつくるのは若い世代の力なくしては実現できません。近い将来、若い力で引っ張ってくれる多くの若者たちの活躍を期待しています。皆様もぜひ、素晴らしい甲佐町、熊本県、日本を創ってください」と挨拶しました。

町教育委員会では、記念品としてオリジナルボールペンを作成し、式典に出席した二十歳の成人者へ贈呈しています。





本日は成人を迎えました私たちに、このような盛大な門出の場を設けて頂き、誠に有難うございます。この20年間を振り返ってみると、熊本地震や新型コロナ感染拡大といった災禍に見舞われた激動の学生生活だったと思います。このような中で無事に成人を迎えられたのは、多くの方々の支えによるものだところより感謝しております。20歳という人生の節目を迎え、気持ちが昂るとともに、緊張もしています。責任ある大人として社会に貢献できるよう精進します。

井藤 遼人さん



本日は、私達のため盛大な式典を挙行していただいたことに心より感謝申し上げます。

この20年間思い返せば楽しいことだけではありませんでした。それでもいまこうして成人の日を無事に迎えることができたのはどんなときも美味しいご飯を作ってくれる家族、どんなときも味方でいてくれる友人、そして温かく「こんにちは」「いってらっしゃい」「おかえり」と言ってくださる甲佐町の方々のおかげです。そんな大好きな甲佐町はみんなが「帰ってくる場所」です。

みんなまた甲佐でね！

岩山 彩夏さん



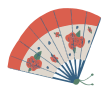
成人代表
メッセー
ジ

成人者誓いのことばを述べた二十歳代表の小柳花凛さん。

病気をきっかけに塞ぎ込んでいたという学生時代を振り返り、「周りの方々のおかげで自分にしかできない仕事をしたいという夢を持つことができました」と感謝を伝えました。小柳さんは現在、甲佐町で焼き菓子屋を営まれています。「お客様に求められるもの、自分らしさとは何かを考えさせられ、毎日が学びです。これまでに受けたたくさんの恩をどう生かし、どう返すのか、大人になった今しっかりと心に留め歩んでいきたい」という言葉から、周りへの感謝が強く伝わってきました。

これからもその思いを胸に、輝かしい未来を築いていってほしいと思います。





新成人が生まれた2004(平成16)年の主な出来事

- 新潟県中越地震
- 1万円、5千円、千円の新紙幣流通開始
- メジャーリーグでイチロー選手がシーズン最多安打記録を更新
- アテネ五輪開催、日本勢の金メダル獲得数が当時最多の16個
- 冬ソナをきっかけとし、ヨン様ブームが到来、韓流ドラマが大人気に



- 1 司会進行役の松永さん(左)と井上さん(右)
- 2 丁寧な受付対応をされていた
左から本田さん、川口さん、甲斐さん
- 3 成人者誓いのことばを述べた小柳さん
- 4 飲酒運転根絶宣言をされた春木さん
- 5 代表して記念品を受領された向山さん



同じ野球部の仲間と
保護者の皆さん
みんなで一緒に汗を流した
思い出は宝物ですね



お世話になった
先生と嬉しい再会
「これからも繋がりを
大切に、お互いに頑張り
ましょう」と励ましの
言葉に涙する場面も





おめでとう
バレンタイン



皆初めは少し緊張した面持ちでしたが、松永さんと井上さんのスムーズな司会進行のなか、時には笑顔がこぼれる場面も。和やかに式が執り行われ、副町長をはじめ来賓者からたくさんの祝福と励ましの言葉をいただきました。



小学校の卒業記念で
つくったタイムカプセル
箱の中には
同じ時間を過ごした
記念写真や自分からの手紙が
入っていました

